

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

大野 太郎 (おおの たろう) [心理学科 教授]

2023年

12. 公的活動

・吹田市生活困窮者就労準備支援業務委託事業者選定に係る学識経験意見書

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川裕美	科学研究費 助成金	小規模法人の健康経営 における阻害要因の解 明および支援プログラ ムの開発	2023	380	大野太郎 坂下英淑
概 要 (薫英研究費・無)					
<p>従業員の健康管理を目的にさまざまな方策を戦略的に実施する経営法である「健康経営」は、従業員の健康管理（投資）によって健康度が増大すれば、仕事のパフォーマンスが向上し、さらに仕事への満足度が増すとともに離職や休職が減り、結果として企業のイメージが高まり、優秀な人材の確保、医療保険費の減少、収益の増大、健康に向けた方策の充実が実現することを目指している。そして経済企画庁は2014年以降各種表彰制度を設けて企業の健康経営に対する取り組みを推し進めている。しかしながら、健康優良法人は戦略として健康管理のシステムを構築する基礎体力のある大規模法人に偏っており、日本企業の99.7%を占める中小規模法人が対象とされる可能性は低い。そこで本研究では、企業体力や人的資源の観点から健康経営の取り組みへの困難が予想される小規模法人に焦点を当て、小規模法人の健康経営推進を阻害する要因の調査・分析、小規模法人の健康経営を支援するプログラムの作成と適用、評価を通じて、効果的な健康経営の推進を支援するアプローチを明確化することを目的とした。</p>					

2022年

10. 講義・講演

・大阪人間科学大学地域交流学術サロン講師

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
野田哲朗	科学研究費 助成金	大学生が「Withコロ ナ」時代を柔軟に生き るためのストレスモデ ル構築の縦断的研究	2022~2024	403	永浦拓 堤俊彦 藤田益伸 大野太郎
概 要 (薫英研究費・無)					
<p>2020年1月から日本ではCOVID-19感染拡大が始まり、大学での講義はオンライン授業となった。そして我々の調査では、孤立化した学生のメンタルヘルスに及ぼすコロナ禍の甚大な影響が認められるようになった。今研究は、未だ終息の目処が立たないCOVID-19感染拡大が大学生のメンタルヘルスと生活習慣、嗜癖行動などに及ぼす影響を長期に渡り追跡調査し、学生がメンタルヘルスの維持向上を図りながらWithコロナ社会を柔軟に生きるためのストレスモデルの構築を目的とする。</p>					

2021年

10. 講義・講演

- ・公認心理師現任者講習会（播磨講師協会主催）講師

12. 公的活動

- ・大阪府守口市立学校いじめ防止対策審議会委員